国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を!

ほっかいどうの社会保障

2013年8月22日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

消費税増税・社会保障改悪はやめろ!

いのちとくらし守る大運動を

生活保護不服審査請求 道内795件



安倍政権は、生活保護費の引き下げの強行に続いて、 今後の社会保障大改悪の計画プログラム法案の大綱を 閣議決定し、10月に予定している臨時国会へ提案を 決めました。来年4月から消費税増税についても9月 にも判断しようとしています。

北海道では、生活保護以下の最低賃金が続くなど、 今でも「生きていけない」状態が広がっている中、消

費税増税はやめて社会保障を拡充させる「いのちとくらしを守る運動」が広がっています。8月22日には、消費税廃止各界連と社保協の合同で宣伝行動を行いました(写真)。消費税増税については、政権の内部からも消極論が生まれ、国民の世論と運動で中止の可能性も広がっています。いのちとくらしを守る大運動を広げましょう。

「コメに、塩や玉子はまだまし」 私の手記から

生活保護の引き下げの撤回を求める不服審査請求は、道内795件(8/21集約)と広がっています。寄せられた「私の手記」には深刻な実態や切実な要望が綴られています。生活保護制度を良くする会では、近くまとめる予定です。

道内各地で、生活保護についての学習会や生活保護利用者への 働きかけも広がっています。

8月29日(木) 10時~ 札幌西区ダイエー琴似店前 生活保護支給日行動します。各地でも取り組みを!

道北勤医協 不服審査請求をお知らせ 生活保護利用者5人が参加表明

道北勤医協でも、患者さんなどに不服 審査請求についてお知らせしています。 訪問看護を利用している方は「下がった ことをわかってくれているんですね」と 審査請求を決意しました。

詳しい手続き法人組織部が訪問などして説明することにしています。

生活保護利用者から相談相次ぐ くらしのSOS 電話相談会

不服審査請求も2名参加

生活・医療・法律・労働相談など36件



8月22日、雇用・くらし・SOSネットワーク北海道は、「くらしのSOS なんでも電話無料相談会」を行いました。10時から18時まで行われた相談会には、札幌をはじめ、旭川、釧路、根室、函館など全道各地から、生活、医療・心、労働、法律、債務など幅広い相談が36人から寄せられました。

特に、8月から生活保護費が引き下げられ、就労指導などが強められていることから、生活保護利用者11人から、「保護が引き下げられたのはどうしてか」「生活していけない」など深刻な相談が寄せられ、2人が不服審査請求に参加することになりました。

当日は、弁護士、司法書士、医療ソーシャルワーカーをはじめ、生活と健康を守る会の生活相談員など16名が参加しました。9月24日(火)には、札幌・チカホで、相談会と反貧困ミニ講演を予定しています。

『道民のくらしに役立つパンフ』学習会

社会保障マスター養成講座 第1講

日時 9月5日(木) 18時30分~

場所 北海道民医連会館 資料代500円

講師 佐藤宏和·道生連事務局長

反貧困キャラバンin札幌

8月24日(土) 13:30~17:00

「子どもの貧困」講演など クリスチャンセンター

8月26日(月) 12:00~18:30

貧困問題ミニ講演inチ・カ・ホ

北海道と札幌市へ申し入れ